

共に伸び、共に輝け、感謝・感動

しなやか えだわん



えだわんだより

横浜市立荏田東第一小学校

◆〒224-0006 横浜市都筑区荏田東三丁目5番1号

◆Tel...045-941-7630 Fax...045-942-9464

◆<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/edahigashi/>

3月

心のチャイムが、鳴る

学校長 熊谷 潤平

チャイムの鳴らない学校で、卒業式に「最後のチャイム」を歌う—。

本校は、教育的なねらいから敢えてチャイムを鳴らさない学校ですが、チャイムにも当然長所や味わいがあります。廊下にいた6年生に、チャイムが鳴らないのに、卒業式の歌に「最後のチャイム」を選んだ理由を問うたところ、「何となく・・・いい。」「曲全体の雰囲気がいいから。」「歌詞もいいよ。」という答えが返ってきました。ロイロ・ノートでとった学年アンケートには、「卒業しても元気づけてくれそうだから。」「思い出がよみがえってくる。」などの言葉が。もうすぐ卒業する子どもの言葉には説得力があります。

そういえば、雪が積もって多くの子どもが中休みに雪遊びをした2月10日。6年担任が、『最後のチャイム』にある『雪の日 真っ白に染まった校庭』の歌詞そのものだ、と子どもたちが喜んでました。」と笑顔で教えてくれました。

別れの3月を控え、校長室からは、給食時に「卒業式の歌メドレー」を流しています。「最後のチャイム」「地球星歌」「旅立ちの日に」。6年生以外の子どもたちもこれらの歌が大好きなようで、校長室前を通る多くの給食当番児童が口ずさみます。こんなふうにして、いよいよ学校も進級・卒業・お別れの雰囲気になってきました。うれしさと、さびしさが交ぜになった、何とも言えない気持ち。

旅立ちや別れは6年生だけでなく、3月を節目に転出する児童や、異動する職員にも及びます。先日行われた第2回学校運営協議会でも、何人かの委員の方から、それぞれのお立場での役職交替や任期終了に伴う「卒業」の御報告がありました。そして、PTA会長始め、子どもたちを毎日送り出し、本校教育活動を、いっぱいいっぱい応援して下さった6年生保護者の皆様も、「えだわんPTA」を「卒業」ということになりました。

これまで「えだわん」をリードし、すてきな学校を創ってきてくれた6年生。一緒に楽しい日々を送ってくれた友達。子どもたちのために一生懸命力を注いでくれた職員。温かなまなざしでいつも子どもたちを見守り、学校を応援して下さった地域の方々。毎日子どもを支え続けて下さった保護者の皆様。激動の世界情勢の中、また、たびたび襲ってきた新型コロナの波の中、こうして一年間を締めくくることが対し、すべての皆様に、心から感謝し、御礼申し上げる次第です。

「最後のチャイム」の中には、こんな歌詞もあります。

チャイムは 今も 心を揺らして鳴り続けてる
 今日の日を いつまでも とどめおきたいけれど

 今 卒業のとき 今 卒業のとき
 さみしさを乗り越えて
 明日へ 強く踏み出そう

「最後のチャイム」 作詞：山本恵三子／作曲：若松敏

歌詞からは、最後のチャイムが鳴り終えた後も、心のチャイムが鳴り続けていることが想像できます。チャイムがない学校だからこそ、それぞれ自分の心の中で、好きな音色のチャイムを鳴らせばよいでしょう。3月のたくさんのさみしい別れを惜しみつつ、荏田東第一小学校は、令和5年度へ向け、さらに感謝と感動いっぱいの、しなやかな学校を目指し、強く踏み出そうと思います。